

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 浜松デザインカレッジ
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数 又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程 (文化・教養)	グラフィックデザイン科		1,350 時間	240 時間	
専門課程 (服飾・家政)	ファッション流通科		940 時間	160 時間	
	メイク・ブライダル科		1,430 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.design-hamamatsu.jp/school_info/">https://www.design-hamamatsu.jp/school_info/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 浜松デザインカレッジ
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人静岡理工科大学のホームページ（ <a href="http://www.sist-net.ac.jp/joho.html">http://www.sist-net.ac.jp/joho.html</a> ）にて「役員名簿」を公開
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	物流等関連企業 代表取締役会長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見 財務担当
非常勤	食品等関連企業 代表取締役会長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	自動車部品等関連企業 代表取締役会長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	物流等関連企業 相談役	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	学校法人 常任理事	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	銀行業 取締役専務執行役員 ※～令和2年6月18日 証券業 代表取締役社長 ※令和2年6月19日～	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	冷蔵倉庫業 取締役社長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見
非常勤	システム関連企業 代表取締役社長	令和元年10月1日～ 令和3年9月30日	学校法人運営についての意見 情報 IR 担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 浜松デザインカレッジ
設置者名	学校法人静岡理工科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校は、卒業認定・専門士授与の方針(ディプロマポリシー)を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員からの意見を聴収する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、カリキュラムの定期的な見直しを行う。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.design-hamamatsu.jp/school_info/">https://www.design-hamamatsu.jp/school_info/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各学科の定めるディプロマポリシー(卒業認定・高度専門士/専門士授与の方針)に掲げる資質・能力の修得状況等は、カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)の「成績評価の方法」に掲げる方法に加え、学生生活上の客観的な指標、卒業対象学生に行うアンケート調査の状況、各種資格取得状況・制作した作品のレベルと志望進路状況(専門領域への就職率及び進学率等)から学修成果の達成状況を評価する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績表は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0~100点)による評価で表わす。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。</p> <p>成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p> <p>成績評価指数= <math>((4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数})) \div \text{科目数}</math></p> <p>成績評価基準は学習成果を総合的に判断できる指標を提供し、学習意欲の向上や学習計画などの自己管理に資することを目的とする。</p> <p>学校HP上に各クラスの成績分布を公表。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.design-hamamatsu.jp/school_info/">https://www.design-hamamatsu.jp/school_info/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、学校教育法に従い、デザイン、ファッション、ビューティーの業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成すること」が教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有していることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門分野の職業人としての基本的技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。</li> <li>● 職業人としての基礎力、判断力、キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。</li> <li>● 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。</li> </ul> <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.design-hamamatsu.jp/school_info/">https://www.design-hamamatsu.jp/school_info/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 浜松デザインカレッジ
設置者名	学校法人静岡理工科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://sist-net.ac.jp/kessan.html">http://sist-net.ac.jp/kessan.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://sist-net.ac.jp/kessan.html">http://sist-net.ac.jp/kessan.html</a>
財産目録	<a href="http://sist-net.ac.jp/kessan.html">http://sist-net.ac.jp/kessan.html</a>
事業報告書	<a href="http://sist-net.ac.jp/kessan.html">http://sist-net.ac.jp/kessan.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://sist-net.ac.jp/kessan.html">http://sist-net.ac.jp/kessan.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士				
文化・教養		専門課程	グラフィックデザイン科	○					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
3年	昼	3,060 単位時間	180 単位時間	2,880 単位時間					3,060 単位時間
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
90人/科		97人	0人	3人	20人	23人			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。 さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員からの意見を聴取する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、カリキュラムの定期的な見直しを行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績表は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表わす。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。 成績評価指数=（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数）÷科目数 成績評価基準は学習成果を総合的に判断できる指標を提供し、学習意欲の向上や学習計画などの自己管理に資することを目的とする。

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、学校教育法に従い、デザイン、ファッション、ビューティーの業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成すること」が教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有していることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●専門分野の職業人としての基本的技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。</li> <li>●職業人としての基礎力、判断力、キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。</li> <li>●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。</li> </ul> <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>小テストや課題進捗チェックを実施し、段階的に学生の理解度を把握している。また、個別相談には常に応じ、放課後や長期休暇等の時間を用いて個別フォローを実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (%)	21人 (84%)	4人 (16%)
(主な就職、業界等) 広告・Webデザイン関連、看板業、印刷会社 等			
(就職指導内容) 就職担当と各学科担当が綿密に連携をとり、求人開拓、情報収集、学生指導等を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) AA・F・T色彩検定 89.2%日本語ワープロ検定 89.3%情報処理技能検定（表計算）88%ビジネス実務マナー検定 75%Illustrator クリエイター能力認定試験 92.6%Photoshop クリエイター能力認定試験 77.8%MicrosoftOffice スペシャリスト 93.3%マルチメディア検定（CG-ARTS）50%WEBデザイナー検定（CG-ARTS）48% <ul style="list-style-type: none"> <li>・マルチメディア検定文部科学大臣賞受賞</li> <li>・色彩検定協会奨励賞</li> <li>・JAGDA 国際学生ポスターアワード 2019 入選</li> <li>・第13回メディアユニバーサルデザインコンテスト最優秀賞</li> </ul>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85人	4人	4.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、精神的健康事由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日々のHRでの状況確認、個人的な細やかなケアを行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッション流通科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間	240 単位時間	1,800 単位時間			
		2,040 単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人/科	18人	0人	2人	9人	11人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 卒業認定・専門士授与の方針(ディプロマポリシー)を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。 さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員からの意見を聴取する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、カリキュラムの定期的な見直しを行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績表は、科目ごと4段階評語(優・良・可・不可)、素点(0~100点)による評価で表わす。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。 成績評価指数 = ((4×優の科目数) + (2×良の科目数) + (1×可の科目数)) ÷ 科目数 成績評価基準は学習成果を総合的に判断できる指標を提供し、学習意欲の向上や学習計画などの自己管理に資することを目的とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、学校教育法に従い、デザイン、ファッション、ビューティーの業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成すること」が教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有していることとする。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●専門分野の職業人としての基本的技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。</li> <li>●職業人としての基礎力、判断力、キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。</li> <li>●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。</li> </ul>
本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。
学修支援等
(概要) カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） 小テストや課題進捗チェックを実施し、段階的に学生の理解度を把握している。また、個別相談には常に応じ、放課後や長期休暇等の時間を用いて個別フォローを実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	1人 (14%)	5人 (83%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 衣料品販売関連企業			
(就職指導内容) 就職指導担当と学科担当の両面から、学生個別に指導を行う。 就職希望者に含まれない者は、希望する会社に正社員採用枠が無いが非正規であるとしても勤務をしたいという本人の強い希望があったため、学校の就職あっせんを受けない者として希望者から外してサポートを行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) サービス接客検定 66.6%色彩技能パーソナルカラー検定 85.7%フォーマルスペシャリスト検定 100%A・F・T色彩検定 66.6%日本語ワープロ検定 53.8%ファッションビジネス能力検定 30.7%サービス接客検定 69.2%色彩技能パーソナルカラー検定 53.8% MOS2016PowerPoint69.2%情報処理技能検定 表計算 58.3%販売士検定 8.3%			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日々のHRでの状況確認、個人的な細やかなケアを行う。		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	メイク・ブライダル科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間	90 単位時間	1,950 単位時間			
			2,040 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人/科		49人	人	3人	24人	27人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。</p> <p>さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員からの意見を聴収する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、カリキュラムの定期的な見直しを行う。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績表は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表わす。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。</p> <p>成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。</p> <p>成績評価指数＝<math>(4 \times \text{優の科目数}) + (2 \times \text{良の科目数}) + (1 \times \text{可の科目数}) \div \text{科目数}</math></p> <p>成績評価基準は学習成果を総合的に判断できる指標を提供し、学習意欲の向上や学習計画などの自己管理に資することを目的とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、学校教育法に従い、デザイン、ファッション、ビューティーの業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成すること」が教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有していることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●専門分野の職業人としての基本的技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。</li> <li>●職業人としての基礎力、判断力、キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。</li> <li>●様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。</li> </ul> <p>本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）</p> <p>小テストや課題進捗チェックを実施し、段階的に学生の理解度を把握している。また、個別相談には常に応じ、放課後や長期休暇等の時間を用いて個別フォローを実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (%)	10人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 化粧品販売、写真館、ブライダル関連企業			
(就職指導内容) 就職指導担当と学科担当の両面から、学生個別に指導を行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本メイクアップ技術検定試験 100% 色彩技能パーソナルカラー検定モジュールⅠ 96% 色彩技能パーソナルカラー検定モジュールⅡ 62% ネイリスト技能検定 96% 日本語ワープロ検定 26% 情報処理技能検定（表計算） 61% AWP 検定 100% サービス接遇検定 3 級 100% サービス接遇検定 2 級 82% 日本化粧品検定 100% 日本メイクアップ技術検定 92% ・H&Mフォトコンテストプリシラ賞受賞			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 毎日のHRでの状況確認、個人的な細やかなケアを行う。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他
グラフィックデザイン科	220,000 円	890,000 円	円
ファッション流通科	220,000 円	890,000 円	円
メイク・ブライダル科	220,000 円	890,000 円	円

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL <a href="https://www.design-hamamatsu.jp">https://www.design-hamamatsu.jp</a>		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者として、関係団体の関係者並びに航空、観光等関連分野の企業実務者と共に、学校関係者評価委員会を設置し年1回開催する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
専門学校 浜松デザインカレッジ 後援会 会長	令和2年5月22日～ 令和3年5月31日	保護者
専門学校 浜松デザインカレッジ 同窓会 会長	令和2年5月22日～ 令和3年5月31日	卒業生
株式会社旭ビジョン 専務取締役	令和2年5月22日～ 令和3年5月31日	企業
遠州織物工業協同組合 事務局長	令和2年5月22日～ 令和3年5月31日	企業
株式会社ルナ・ソーレ 代表取締役	令和2年5月22日～ 令和3年5月31日	企業
松江町住民	令和2年5月22日～ 令和3年5月31日	地域住民
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL <a href="https://www.design-hamamatsu.jp">https://www.design-hamamatsu.jp</a>		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL <a href="https://www.design-hamamatsu.jp">https://www.design-hamamatsu.jp</a>
--